

大阪合研によろこそ!

全国のみなさん、大阪合研によろこそおいでくださいました。また、先日の大阪北部地震や西日本全域の豪雨で被災された方々には、心よりお見舞い申し上げます。こうした災害が生じるたびに、子どもの命を守り、その健やかな育ちを保障する保育とは何か、子どもの最善の利益を追求すべき国・自治体の役割とは何か、を考えさせられます。

今年は、合研50回目の記念集会。どんな思いで保育実践・保育運動のバトンを引き継いできたのか、どれだけ子どもたちのためになったのか、保育を通じて私たち自身の人生がどれだけ豊かになったのか、これを学び、語り合い、確かめ合うことは、これからの保育実践と保育運動の大きな糧になると思いま

す。大いに合研を楽しみ、合研から必要な知識、大切な経験、これからのつながりなど、いろいろなものを持ち帰ってください。

大阪合研実行委員会では、1000名を超える要員を募り、合研の準備をしました。この3日間、みなさんが少しでも合研を楽しめるようがんばっていきます。現地実行委員長の僕がいうのもなんですが、本当に頭の下がる思いです。こうした努力が大きな保育運動のうねりを生み、子どもの今と未来を慈しむ一体感を生むのだらうと確信しています。

酷暑の中ではありますが、体調には十分気をつけて、食いだおれの街、合研の街、大阪を満喫してください。

大阪実行委員会
実行委員長
河村 学



つないでつないで50回!

全国保育団体
合同研究会実行委員長
渡邊 保博



豊かな保育、公的な保育制度の充実、そして保育・教育は平和と民主主義のもとでこそ。そう願って1969年に開催した第一回保育合研。保育や福祉は「仲介の仕事」、人と人をつなぐ仕事。本当にたくさんのつながりに支えられ、バトンタッチをくりかえしながら50回を迎えました。

企画・準備から参加組織に関わる実務作業、当日の運営や財政活動まで、困難はありながらもすべて手づくりの自主的な集会。全国各地の保育園や幼稚園の職員、保護者と子ども、経営者、議員や自治体職員、そして保育研究団体・父母団体・労働組合などの多様な参加者。毎回の合研は「一つの到達でもあ

り、出発でもある」として、「地域・各園での実践を合研に」もちより、「合研で学んだことを地域・各園に」返してきました。そのことが、全国各地の保育の質を高めていく力の1つになってきました。

わが国はもちろん、世界的にもこんな保育の研究集会はなかなかみられません。いい保育を求め力をよせあう私たちを子どもたちは見えています。「輝く(おとな)集団は、子どもたちの最大の教育」であり、子どもたちは「おとなをくぐって未来に翔ぶ」といった保育者がいます。「輝く」おとな集団が苦労しながら創りだす50回合研。成功を祈ります。

河内音頭

～第50回 大阪合研バージョン～

①エ～河内音頭にのせまして 合研音頭と出かけましょう
ヨ～ホーイホーイ(イヤコラセ～ドッコイセ)
今日は全国各地から よろこそお越しくださいました
今年は合研50周年 あべのハルカスも大歓迎
みな盛り上がり ソレ賑やかに(ソレ賑やかに)老いも若きも男も女も
さあさ皆さん(ソレソレソレソレ)(ソレソレソレソレ)
笑って 歌って 踊ろうじゃないか(ソラヨイトコサッサノイヤサッサ)

③エ～仕事と家事と子育てあれこれと 目まぐるしく過ぎる毎日よ
ヨ～ホーイホーイ(イヤコラセ～ドッコイセ)
汗かき働き うちに帰ら 炊事 洗濯 お掃除よ
そして子育てにも励む そんな大変なことだから
みんなで手を取り合いながら子育てしましょう父ちゃん母ちゃん 先生も
さあさ皆さん(ソレソレソレソレ)(ソレソレソレソレ)
笑って 歌って 踊ろうじゃないか(ソラヨイトコサ サノイヤサッサ)

②エ～ 春夏秋冬 こどもらと今日は何して遊ぶうか
ヨ～ホーイホーイ(イヤコラセ～ドッコイセ)
どんなにしんどい時だって こどもの笑顔と笑い声
見て 聴くだけで元気出る! やっぱ保育が大好きや!
みな盛り上がり ソレ賑やかに(ソレ賑やかに)新米先生もベテランも
さあさ皆さん(ソレソレソレソレ)(ソレソレソレソレ)
笑って 歌って 踊ろうじゃないか(ソラヨイトコサッサノイヤサッサ)

④エ～こどもの命を育て 切磋琢磨の50年
ヨ～ホーイホーイ(イヤコラセ～ドッコイセ)
今日から始まる3日間 みんなで保育学び合い
明日の日本を背負って立つ こどもをみんなで育てよう
みな盛り上がり ソレ賑やかに(ソレ賑やかに)ここでちょうど時間となりました
さあさ最後に(ソレソレソレソレ)(ソレソレソレソレ)
笑って 歌って 踊ろうじゃないか(ソラヨイトコサッサノイヤサッサ)

熱中症に注意!!

- 手足がしびれる
- めまい、立ちくらみがある
- 筋肉のこむら返りがある(痛い)
- 気分が悪い、ぼーっとする

上記の症状がある時には

- ★涼しい場所へ避難
 - ★冷やした水分・塩分の補給
- などの対応をお願いします。



埼玉の基地と平和

埼玉県保育問題協議会・事務局長
金子 貴美子



埼玉には、朝霞市、和光市、新座市、一部東京都練馬区にまたがる陸上自衛隊朝霞駐屯地の他に航空自衛隊入間基地、航空自衛隊熊谷基地など8箇所の自衛隊基地と所沢米軍通信基地など3箇所の米軍基地があります。そして入間基地ではいま、自衛隊病院や災害対処拠点などをつくる工事が強行されています。

さらにオスプレイも、昨年3月の日米合同演習「フォレストライト02」や、今年1月の訓練では、埼玉県内の30市町の上空を勝手気ままに飛び回り、さらに所沢では7月に着陸2回も行い、「目的外訓練」を行っていたことが埼玉県平和委員会の調査で明らかになっています。

もともとこの訓練は、「沖縄の負担軽減」という「名目」で行われていたものでした。しかし市町村にも情報を提供せず、通告なしに埼玉上空を勝手にオスプレイの「訓練場」にすることは見過ごすことはできません。

これは墜落や落下事故の危険に埼玉県民をさらすだけでなく、米国の戦略の片棒を担ぐことで「加害者」の側に立つことになりかねません。

事務連絡

本日お帰りの際…
**混雑回避のため
帰路分散のお願い**

本日閉会后、会場から5000人を超える参加者が一斉に帰路につくため、大変混雑することが予測されます。混雑回避のため、乗車駅を右図のように分散してください。ご協力をお願いします。

